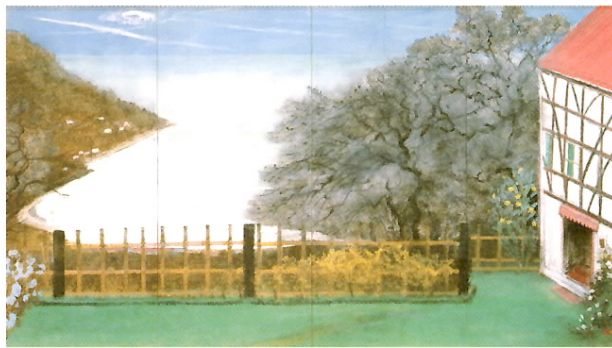
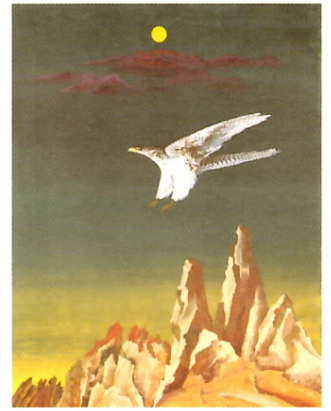




工藤甲人「残蝶」平塚市美術館蔵



山本丘人「風立ちぬ」



稗田一穂「蒼天の旅」



上村松篁「春宵」松伯美術館蔵



上野泰郎「かわらぬ愛」



滝沢具幸「月光譜」



平川敏夫「松巒湧雲」



吉岡堅二「雪」飯田市美術博物館蔵



大森運夫「伊那谷の春」

1948年(昭和23年)、戦後日本画壇の旧態を払拭し、「世界性に立脚する日本画の確立」を目指さんとして、東京・京都の13名の日本画家が集い「創造美術」が結成されました。

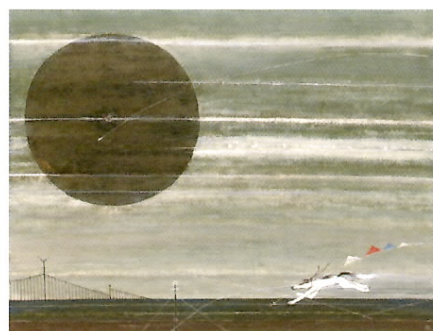
「創造美術」は、画壇の沈滞を打破し新たな創造を目指した気概あふれる創立会員と、自由な創造の場を求めて出品した新進気鋭の画家たちにより、果敢に自由な絵画表現が試みられ、戦後の日本画壇に鮮烈な刺激を与えてきました。

その後「創造美術」は「新制作協会」日本画部を経て、現在の「創画会」へと続いています。「創画会」では、今日も創立の精神を受け継ぎ、日本画表現への自由な挑戦が絶えず繰り広げられ、毎年、秋・春の創画展において成果を発表しています。

このたび、創造美術創立から70周年を記念し、創立会員、物故会員、現会員91名の作品による記念展が飯田から開幕します。



加山又造「動物園・象」



池田幹雄「黒い太陽」



宮島弘道「POCKET-032」